



ゆうメール

拝啓 大寒の候、皆様、お変わりなくお過ごしでしょうか。

昨年は、新型コロナウイルスの影響をさまざまに受けながらも、劇場内外で多くの演劇ワークショップ（以下、WS）の場を開くことができ、人と人が出会うことで生まれる多くの物語を共有しました。ひとえに世田谷パブリックシアター（以下、SPT）学芸の取り組みを支えてくださった皆様のおかげと感謝しています。

年始早々の1月8日（土）より、「地域の物語2022『老いをめぐるささやかな冒険』・老いとケアフード（care-hood）について考える演劇WS」が始まりました。これはすでにはじまっている超高齢化社会を私たちはどう生きていくのかを考える、演劇ならではの取り組みです。

1月と2月は、嬉しいことに小中学校から演劇WS「かなりゴキゲンなWS巡回団」のご依頼を多くいただきました。これからも、子どもから高齢者まで、地域に生きるすべての人に演劇WSを届けていきたいと考えています。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

敬具

\*WS=ワークショップの略

世田谷パブリックシアター 学芸事業の今後の予定（1月～2月） 12月31日時点

1月	7日（金）	「デイ・イン・ザ・シアター」～年始のえんげきはじめ編～①②	劇場で行う誰でも参加できる短時間のWS
	8日（土）	地域の物語2022『老いをめぐるささやかな冒険』 「老いとケアフード（care-hood）について考える演劇WS（全15回＋発表会）」 1月10日、22日、23日、29日、30日、2月11日、12日、19日、20日、23日、3月12日、13日、18日、19日、20日（発表会）	地域の物語プログラム（全15回＋発表会）
	9日（日）	「デイ・イン・ザ・シアター」～年始のえんげきはじめ編～③④	劇場で行う誰でも参加できる短時間のWS
	9日（日）	国際協働プロジェクトドラマボックス（シンガポール）×世田谷パブリックシアター	国際協働プロジェクト
	10日（月祝）	中学生演劇部鑑賞会	中学生のための区大会支援
	10日（月祝）	演劇WSラボ【ラボ自主企画】「コロナ禍で開発した対面ゲームを活用したWSを実践に結びつけるクラブ」	演劇WS専門家育成
	11日（火）	演劇WSラボ【ラボ自主企画】「絵本クラブ」	演劇WS専門家育成
	12日（水）	かなりゴキゲンなWS巡回団@弦巻小1年 1月24日、2月2日、4日	区内小中学校訪問WS：依頼毎
	13日（木）	下馬地区アートプロジェクト「だれでも表現クラブ・極楽」	高齢者の居場所づくり
	17日（月）	かなりゴキゲンなWS巡回団@京西小2年① 1月18日、24日、25日	区内小中学校訪問WS：依頼毎
	17日（月）	演劇WSラボ【ラボ自主企画】「おやこ不思議発見クラブ」	演劇WS専門家育成
	18日（火）	かなりゴキゲンなWS巡回団@弦巻小2年① 1月21日、25日、28日、2月1日、4日、9日	区内小中学校訪問WS：依頼毎
	20日（木）	下馬地区アートプロジェクト「だれでも写真クラブ・極楽」	高齢者の居場所づくり
	21日（金）	フォーラムシアター@用賀	地域課題解決型演劇WS（テーマ：高齢化社会）
25日（火）	演劇WSラボ【ラボ自主企画】オンライン班企画・運営 月1トーク企画「おしえて！LABO生!!」第二弾	演劇WS専門家育成	
26日（水）	かなりゴキゲンなWS巡回団@鳥山小2年① 1月27日、2月2日、3日、14日、17日、18日	区内小中学校訪問WS：依頼毎	
28日（金）	かなりゴキゲンなWS巡回団@ほっとスクール城山 2月25日	区内小中学校訪問WS：依頼毎	
28日（金）	ダンス食堂 メニュー20 Nibroll	ダンス公演関連企画	
31日（月）	フォーラムシアター@下馬地区団地	地域課題解決型演劇WS（テーマ：高齢化社会）	
2月	2日（水）	かなりゴキゲンなWS巡回団@玉堤小1年① 2月3日、9日、10日	区内小中学校訪問WS：依頼毎
	3日（木）	下馬地区アートプロジェクト「だれでも表現クラブ・極楽」	高齢者の居場所づくり
	7日（月）	演劇WSラボ【ラボ自主企画】「絵本クラブ」	演劇WS専門家育成
	8日（火）	かなりゴキゲンなWS巡回団@上北沢小2年① 2月9日、15日、16日	区内小中学校訪問WS：依頼毎
	8日（火）	かなりゴキゲンな巡回団ワークショップ奥沢小2年生① 2月15日	区内小中学校訪問WS：依頼毎
	10日（木）	かなりゴキゲンなWS巡回団@世田谷中2年生①	区内小中学校訪問WS：依頼毎
	10日（木）	下馬地区アートプロジェクト「だれでも写真クラブ・極楽」	高齢者の居場所づくり
	13日（日）	地域の物語2022『老いをめぐるささやかな冒険』 「老いとケアフード（care-hood）について考える演劇WS」（1日）	地域の物語プログラム（単発）
	16日（水）	かなりゴキゲンなWS巡回団@鳥山小1年生① 2月17日、18日、22日、24日	区内小中学校訪問WS：依頼毎
	17日（木）	下馬地区アートプロジェクト「だれでも写真クラブ・極楽」	高齢者の居場所づくり
	26日（土）	「入学前親子のためのホッとプログラム」@弦巻小学校PTA	地域連携プログラム（依頼毎）
	27日（日）	「デイ・イン・ザ・シアター」	劇場で行う誰でも参加できる短時間のWS

# 2021年11月～12月学芸事業一覧

劇場 …… 劇場内で実施するWS 地域連携 …… 区内施設、NPO他と協力して実施するWS その他 …… レクチャーや人材育成の取組、その他WS

11月

- 1日(月) ● **かなりゴキゲンなWS巡回団@山野小学校5年生** 地域連携 (進行役:すずきこーた)
- 1日(月) ● **演劇WSラボ【ラボ自主企画】「絵本読み聞かせクラブ」** その他 18:00～21:00
- 4日(木) ● **かなりゴキゲンなWS巡回団@山野小学校5年生** 地域連携 (進行役:すずきこーた)
- 6日(土) ● **「親子えんげき体験ひろば (UR都市機構)」@アクティ三軒茶屋** 地域連携 14:00～16:00 (進行役:すずきこーた)
- 6日(土) ● **演劇WSラボ【ラボ自主企画】「コロナ禍で開発した対面ゲームを活用したWSを実践に結びつけるクラブ」** その他 14:00～17:00
- 9日(火) ● **かなりゴキゲンなWS巡回団@山野小学校5年生** 地域連携
- 10日(水) ● (進行役:すずきこーた)
- 12日(金) ●
- 13日(土) ● **国際協働プロジェクト**
- 14日(日) ● **ドラマボックス (シンガポール)×世田谷パブリックシアター③** その他 12:00～17:00「**尊厳あるケアを考えるWS (11月)**」(進行役:花崎攝、八幡亜樹) 超高齢化社会の到来に向けて、「尊厳あるケアとは？」をテーマにシンガポールの劇団「ドラマボックス」と協働プロジェクトを行っている。毎回、共通のお題を決めて、シンガポール側と日本側で行ったWSをオンラインで共有しているが、今回のテーマは『Money』。日本側のWSでは、ツイストゲームをベースに、持っているお金とその時いる場所からサービス(マス)を選ぶゲームを考案。ゲームが進むにつれて、怪我や病気などの偶発性が加わり、そのたびにデイケア、ヘルパーなどを使う選択をする。身体の稼働領域の困難さなどが加わり、老後の生活を身をもって知るゲームが出来上がった。
- 14日(日) ● **世田谷パブリックシアター演劇部 中学生の部 ～区大会編～** 12/12回目 **ふりかえり** 劇場 (進行役:金谷奈緒) 
- 15日(月) ● **かなりゴキゲンなWS巡回団@山野小学校5年生** 地域連携 (進行役:すずきこーた)
- 16日(火) ● **かなりゴキゲンなWS巡回団@砧南小学校2年生** 地域連携 (進行役:すずきこーた)
- 17日(水) ●
- 18日(木) ● **下馬地区アートプロジェクト「だれでも写真クラブ・極楽」** 地域連携 14:00～16:00「**写真日記編**」(進行役:金川晋吾) 9月の極楽フェスでの展示を終えたメンバーから「ぜひ続けて活動したい」と声をいただき、下馬あんしんすこやかセンターと下馬2丁目北町会との共催で活動を継続することになった。今回のテーマは「写真日記編」。写真と日記を組み合わせることで、写真から日々の暮らしが浮上した。
- 22日(月) ● **かなりゴキゲンなWS巡回団@砧南小学校2年生** 地域連携 (進行役:すずきこーた)
- 23日(火) ● **演劇WSラボ【ラボ自主企画】「コロナ禍で開発した対面ゲームを活用したWSを実践に結びつけるクラブ」** その他 14:00～17:00
- 24日(水) ● **かなりゴキゲンなWS巡回団@砧南小学校2年生** 地域連携 (進行役:すずきこーた)
- 25日(木) ● **かなりゴキゲンなWS巡回団@砧南小学校2年生** 地域連携 (進行役:すずきこーた)
- **かなりゴキゲンなWS巡回団@ほっとスクール城山** 地域連携 (進行役:柏木陽)
- 28日(日) ● **「デイ・イン・ザ・シアター」1日限りの「演劇&劇場」体験ワークショップ** 劇場 10:30～12:30「**小さな稽古場編①**」(進行役:富永圭一) 17:00～19:00「**小さな稽古場編②**」(進行役:富永圭一) 今回の日は「小さな稽古場編」として、少人数で実施した。コロナ禍で、人と外で食事をする機会が減り自炊が増えているのではないかと、ということに着目し、「美味しい音」をテーマに設定。それぞれ好きな食べ物を絵に描き、食べる時・料理する時に聴こえる「擬音」を使って表現した。視覚、聴覚を研ぎすますことで、豊かな味覚を感じることでできるWSとなった。
- 28日(日) ● **国際協働プロジェクト**
- **ドラマボックス (シンガポール) ×世田谷パブリックシアター③** その他 19:00～22:00「**尊厳あるケアを考えるWS (11月) オンライン報告会**」
- 30日(火) ● **かなりゴキゲンなWS巡回団@砧南小学校2年生** 地域連携 (進行役:すずきこーた)



ツイストゲーム後半戦。身体の動きの自由がなくなる中で、さまざまな選択を強いられる。



シンガポール側と日本側で行ったWSをオンラインで共有している様子

「年をとって感じること」をテーマに参加者同士で話し合い、写真日記をつくっていくための手がかりを探しました。「年をとって良いことなど何もない」という声もありましたが、「地域のみんなと一緒に長い時間を歩んできたからこそお互いを理解できるようになった」などの声もありました。



絵を見せずに発表者の擬音だけを聞いて、なんの食べ物を書いたのかお互いに当て合うと、大人も子どもも関係なく大盛り上がり！お寿司屋さんやレストランを設定するグループもあれば、食卓や料理の過程そのものを表現するグループもありました。それぞれ「好きな物をみんなで食べる」ということが演劇で達成されると、参加者はとても満足げな表情でした。



お寿司屋さんのカウンターで好きなものを食べている場面

12月

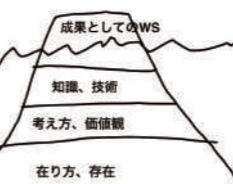
- 1日(水) ● **かなりゴキゲンなWS巡回団@砧南小学校2年生** 地域連携 (進行役:すずきこーた)
- 2日(木) ● **下馬地区アートプロジェクト「だれでも表現クラブ・極楽」** 地域連携 14:00～16:00『**人生モビール**』をつくろう (進行役:開発彩子) 12月から2月は「人生モビール」づくりに挑戦。このプログラムでは、アート作品をつくるだけでなく、参加者自身が自分と向き合う時間を大切にしている。WSを通じて、自分が出会ってきた物、人、場所、出来事などを振り返りながら、作品をつくることで、自分や他者の知らなかった部分を発見する機会となった。
- 4日(土) ● **演劇WSラボ【ラボ自主企画】「コロナ禍で開発した対面ゲームを活用したWSを実践に結びつけるクラブ」** その他 14:00～16:00
- 6日(月) ● **演劇WSラボ【ラボ自主企画】「絵本読み聞かせクラブ」** その他 18:00～21:00
- 11日(土) ● **演劇WSラボ【ラボ自主企画】「コロナ禍で開発した対面ゲームを活用したWSを実践に結びつけるクラブ」** @桜丘児童館 その他 14:00～16:00「**こむすびクラブ 演劇のあそび場**」 演劇WSラボは、演劇と社会の関係について思考/実験する場として、さまざまな視点をもつ人が出会い、対話しながら、新たな価値やアイデアを生み出すヒントを探っている。その中でコロナで失われた人と人とのつながりを演劇を通してむすびなおすことを目的に「こむすびクラブ」が結成され、研究員は、コロナ下でも安心して実践できる「対面」の演劇WSを考案。さらに、児童館で実施することになった。実施までのプロセスを通して、地域で演劇WSを開催するための企画、運営を研究員たち自身が考える契機となった。
- 11日(土) ● **国際協働プロジェクト**
- 12日(日) ● **ドラマボックス (シンガポール)×世田谷パブリックシアター④** 地域連携 12:00～17:00「**尊厳あるケアを考えるWS (12月)**」 (進行役:花崎攝、八幡亜樹)
- 16日(木) ● **下馬地区アートプロジェクト「だれでも写真クラブ・極楽」** 地域連携 14:00～16:00「**写真日記編**」(進行役:金川晋吾)
- 18日(土) ● **「デイ・イン・ザ・シアター」1日限りの「演劇&劇場」体験ワークショップ** 劇場 10:30～12:30「**にんじゃサンタになってみよう①**」(進行役:大道朋奈) 15:30～17:30「**にんじゃサンタになってみよう②**」(進行役:大道朋奈)
- 19日(日) ● **「デイ・イン・ザ・シアター」1日限りの「演劇&劇場」体験ワークショップ** 劇場 10:30～12:30「**クリスマスカードを贈ろう!①**」(進行役:とみやまあゆみ) 15:30～17:30「**クリスマスカードを贈ろう!②**」(進行役:とみやまあゆみ)
- 23日(木) ● **演劇WSラボ【ラボ自主企画】オンライン班企画・運営 月1トーク企画** その他 19:30～21:30「**おしえて! LABO生!!**」第一弾(ゲスト:すずきこーた) SPT演劇WSラボのオンライン班が企画・運営する企画。多種多様な角度から演劇WSを実践している演劇WSラボのメンバーをゲストに、演劇WSに対する姿勢や、思い、考えをざっくりと聞くとトーク企画。

コロナ禍において、積極的にオンラインワークショップを実施している、演劇ワークショップファシリテーターのすずきこーたさんに、オンラインWSと対面WSを比較しながら、大切にしていること、考え方、課題などの話を伺いました。大切なことはオンラインでも対面でも変わらない、「自分はワークショップを通して何がしたいのか」を常に問いながら、その時に必要な選択をする事の重要性を問われた会になりました。



和気あいあいとざっくりと話を様子

すずきこーたさんのWSに対する考え方を聞く様子



あなたのイメージカラーは？○△□の中であなたを例えるなら？あなたを動物に例えると？あなたを植物に例えると？なりたい生き物は？好きな場所は？思い出の場所は？好きな食べ物は？などをみんなでおしゃべりしながら、つくったモビールはどれも傑作でした。



自分の好きな花や色を表現したモビール

普段、学校や劇場で子どもたちとのWSを行っている研究員たち。学校のような強い秩序はなく、劇場のような非日常の空間でもない「児童館の子どもたち」との出会いはとても新鮮で、おかれた環境によって大きく変化する子どもたちにどう対応していくか、新たな課題が見いだされることになりました。



桜丘児童館の職員さんとのMTG風景

それぞれが撮影してきた写真を投影しながら、日記を読みあげます。何気ない風景に見える写真も、「病院の帰り道に見た河原の風景」「落ち葉拾いの仕事をしている公園」「一期一会を楽しんだ後の神社」など、日記による描写によって写真の重みが変わることを感じました。



上映風景

12月といえばクリスマス！クリスマス为主题にした12月デイでは、サンタクロースになりきって誰かにプレゼントを届けるシーンを作るプログラム(18日)と、理想のクリスマスカードをグループで表現したあと実際に誰かに宛ててクリスマスカードを書くプログラム(19日)の二本立てとして2日間開催しました。当日を前に、少しだけクリスマスが楽しみになるような時間となりました。



理想のクリスマスカードを、4人で表現。クリスマスツリー(後方2人)がきらきら輝く中、サンタさんとトナカイさん(前方2人)がクリスマスプレゼントを届ける、飛び出るカードのシーンを作りました。最後は4人でびたっとカードの形で閉じるまで演じました。



# 『世田谷パブリックシアター演劇部 中学生の部 ~区大会編~』

実施日：2021年9月12日(日)、20日(月・祝)、26日(日)、10月3日(日)、9日(土)、10日(日)、17日(日)、23日(土)、24日(日)、30日(土)リハーサル、31日(日) 区大会当日、11月14日(日) ふりかえり  
 中学生メンバー：12名 進行役：金谷奈緒

『世田谷パブリックシアター演劇部 中学生の部』は中学生を対象とした演劇WS事業です。単発で参加者を募っての実施が基本ですが、唯一「区大会編」は、10月末に開催される「区大会」での上演にむけて行う長期連続WSとなります。「区大会」というのは通称で、正式には「世田谷区立中学校演劇発表会」といい、区立中学校の演劇部が出場し、日ごろの成果を発表する大会です。世田谷パブリックシアターは、2013年より「世田谷パブリックシアター演劇部 中学生の部」としてエントリーしています。

「演劇部」にはあらかじめ台本はありません。この場に集まった中学生たちが、どんな演劇をつくりたいかを話し合いで決め、自分たち自身で作品を創作(写真①)します。脚本家がいる、台本があり、演出家が構想して立ち上げていく創り方ではありません。みんなでアイデアを持ち寄っては小さなシーンをつくり、互に見合い、意見交換してつくり直すという工程を繰り返して練り上げていきます(写真②~④)。

中学生たちは『星の王子さま』の世界を下敷きに、無垢な「王子さま」が「不思議な大人のいる星」を旅する物語をつくることを決めました。「なんでお母さんは電話で声がかわるんだろう」「なんで嫌いな仕事を続けているんだろう」という、普段思っている大人に対して

の疑問を出発点に、自分たちの目から見た大人の姿を描きだす作品ができあがりました。

作品を作り進めている最中の9月末、緊急事態宣言が解除されました。しかしながら感染症の収束は見えず、区大会は「無観客」かつ「上演校同士の接触・交流なし」での実施が決定しました。中学生たちはそれを受け止めつつ、モチベーションは落とさずに取り組み続け、区大会当日(写真⑤~⑥)を迎えることになりました。上演は、講評いただく先生と一部の関係者のみに見守られてのものとなりましたが、中学生たちは緊張感をもって舞台に立ち、堂々と演じきり、終演後にはほっとした笑顔が見られました。

区大会から2週間後、振り返りの会(写真⑦~⑧)を行いました。中学生たちからは「台本がなくて不安だったけれど、意見を出し合って創るのは楽しかった」、「今まで自分の意見を言うのが得意じゃなかったけれど、少しずつ声が出るようになって嬉しかった」といった感想が聞かれました。「区大会編」としての活動はこの日で終了となりましたが、区大会主催の先生方のご意向で、各出場校の上演映像を各校で鑑賞し、感想を送りあうことが決まりました。「演劇部」でも1月と3月に鑑賞会を予定しており、この後も「区大会」は続いていくことになります。



1 初回の様子

①やりたいこと、やってみたいこと、イメージ ②伝えたい思い、訴えたいこと、考えていること ③達成したいこと ④具体的なもの にわけて、紙に書く。全体または2グループでマッピング(分類)してみる。マッピングしたものを共有。



2 みんなの気になること・やってみたいことから作ったシーン①  
 情報社会のことをやりたいというアイデアから、テレビを見ている人のシーン。



3 みんなの気になること・やってみたいことから作ったシーン②  
 銀河鉄道の夜の1シーン。



4 みんなの気になること・やってみたいことから作ったシーン③  
 蜘蛛の糸の1シーン。



5 当日本番前の様子  
 緊張をほぐすためのなんでもバスケット。



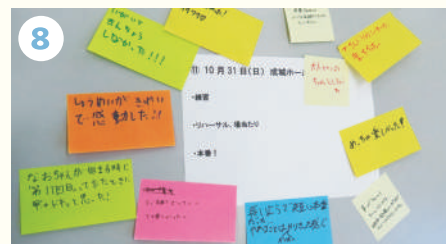
6 当日ステージ上の様子

通勤電車でまぎれこんだ王子さまが「仕事」への問いかけをするシーン。



7 振り返りの様子

全11回のWSでどんなことがあったか思い出しながら、付箋でコメント。



8 振り返りの中学生のコメント(発表会当日の気持ちなど)

本番は緊張せず楽しかったというコメントが多かった。

